

体育科学学習指導略案

あさひ子1組 5名 指導者 出未 淳一郎

本授業では、以下の検証を行うものである。

- 様々な運動（遊び）を通して、多様な動きを身に付けるために、子供一人一人が課題解決の見通しをもち、進んで運動に取り組むための手立ては有効であったか。

- 1 単 元 「ぴよんぴよん ころころ いきものランド」～体づくり運動～
- 2 指導計画（総時数6時間）
- 3 本 時 （3／6）

過程	主な学習活動【評価規準】					時数	資質
一 次	1 オリエンテーション ・体づくり運動の目標や学習計画を知り、体づくり運動に必要ないろいろな動きを体験する。（試しの運動）					1	言 問
	評価規準	A(1年) 順番やきまりを守りながら友達と仲よく運動したり、場の安全に気を付けたりしようとしている。【主】	B(1年) 簡単なきまりを守りながら友達と仲よく運動したり、場の安全に気を付けたりしようとしている。【主】	C(2年) 用具の使い方や運動の行い方のきまりを守りながら友達と仲よく運動したり、場の安全を確かめようとしている。【主】	D(2年) 簡単なきまりを守りながら教師と一緒に運動したり、場の安全に気を付けたりしようとしている。【主】		
二 次	2～5 学習の進め方を確認し、運動に取り組む。 2 3(本時) 4 5 ○体ほぐしの運動では、手軽な運動や律動的な運動を楽しむ。 ○多様な動きをつくる運動（遊び）では、運動に慣れたり、選んだりして楽しむ。 ・バランスをとる運動 ・体を移動する運動 ・用具を操作する運動 ・力試しの運動 ・基本的な運動を組み合わせる運動					4	言 問 協
	評価規準	A(1年) 順番やきまりを守りながら友達と仲よく運動したり、場の安全に気を付けたりしようとしている。【主】 運動をする場や使用する用具などを変えながら、いろいろな運動の仕方を進んで選んでいる。【思】 体のバランスをとったり移動したりする動きや用具を操作したり力試しをしたりする動きができる。【技】	B(1年) 簡単なきまりを守りながら友達と仲よく運動したり、場の安全に気を付けたりしようとしている。【主】 運動をする場や使用する用具などを変えながら、いろいろな運動の仕方を教師と一緒に選んでいる。【思】 体のバランスをとったり移動したりする動きや用具を操作したり力試しをしたりする動きができる。【技】	C(2年) 用具の使い方や運動の行い方のきまりを守りながら友達と仲よく運動したり、場の安全を確かめようとしている。【主】 運動をする場や使用する用具などを変えながら、いろいろな運動の仕方を見付けたり、友達のよい動きを見付けたりしている。【思】 体のバランスをとったり移動したりする動きや用具を操作したり力試しをしたりする動きができる。【技】	D(2年) 簡単なきまりを守りながら教師と一緒に運動したり、場の安全に気を付けたりしようとしている。【主】 運動をする場や使用する用具などを変えながら、いろいろな運動の仕方を教師と一緒に選んでいる。【思】 体のバランスをとったり移動したりする動きや用具を操作したり力試しをしたりする動きができる。【技】		
三 次	6 やりたい運動を選んで挑戦する。 ・これまでの活動を振り返り、動きを確かめたり、生活への生かし方を考えたりする。					1	言 振
	評価規準	A(1年) 体のバランスをとったり移動したりする動きや用具を操作したり力試しをしたりする動きを行うことができる。【技】	B(1年) 体のバランスをとったり移動したりする動きや用具を操作したり力試しをしたりする動きに行い、慣れることができる。【技】	C(2年) 体のバランスをとったり移動したりする動きや用具を操作したり力試しをしたりする動きをいろいろな方法でできる。【技】	D(2年) 教師と一緒に体のバランスをとったり移動したりする動きや用具を操作したり力試しをしたりする動きを行い、慣れることができる。【技】		

(1) 目標

用具の使い方や運動の行い方のきまりを守りながら、友達と仲よく運動したり、場の安全を確かめたりして、進んで運動に取り組んでいる。

(2) 評価規準

	A(1年)	B(1年)	C(2年)	D(2年)	E(3年)
評価規準	順番やきまりを守りながら友達と仲よく運動したり、場の安全に気を付けたりしようとしている。 【主】	簡単なきまりを守りながら友達と仲よく運動したり、場の安全に気を付けたりしようとしている。 【主】	用具の使い方や運動の行い方のきまりを守りながら友達と仲よく運動したり、場の安全を確かめようとしている。 【主】	簡単なきまりを守りながら教師と一緒に運動したり、場の安全に気を付けたりしようとしている。 【主】	簡単なきまりを守りながら教師と一緒に運動しようとしている。 【主】

(3) 指導に当たって

ア 主体的な学びの視点

学習のねらいや「すること」を板書資料等で確認することで、見通しをもって主体的に活動することができるようにする。

イ 対話的な学びの視点

個やペア、グループなど活動形態を工夫することで、教師や友達と一緒に体ほぐしの運動や多様な動きをつくる運動(遊び)に取り組み、「気付き」「調整」「交流」のねらいを達成したり、基本的な動きを身に付けたりすることができるようにする。

ウ 深い学びの視点

ステーション方式など、個々の子供に合った教材・教具を工夫することで子供のできる状況をつくり、学びを深めることができるようにする。

(4) 本時の展開

[] 子供の意識 ○ 教師の手立て ※評価

過程	時間	主な学習活動	指導の手立て
つかむ・見通す	2	1 本時のねらいを知り、活動のめあてをもつ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> いろいろな運動に挑戦して、楽しく体を動かそう。 </div> <ul style="list-style-type: none"> また、友達とストレッチをしたいな。 友達と一緒に動きを合わせたり、競争したりすると楽しそうだな。 	○ 前時までに学習してきた運動を想起させ、体を十分に動かす楽しさや心地よさに触れることができるようにする。 ○ 本時の学習で取り上げる運動について、内容を分類した板書を示し、どのような種類の運動を行っていくのか「すること」を提示し、見通しをもちながら進んで活動ができるようにする。
		2 ステーションごとに多様な運動(遊び)に挑戦する。 (1) 準備運動・体ほぐしの運動(8分) <ul style="list-style-type: none"> 腕を揺すってもらうと力が抜けてほっとするね。 友達と動きを合わせると、楽しくなるね。 	
挑戦する	38	(2) 体のバランスを取る運動(15分) <ul style="list-style-type: none"> 上手にバランスを取りながら回ってみよう。 「せーの」と掛け声があるとうまく動きが合うね。 	○ 体ほぐしの運動では、体への気付き、体の調整、仲間との交流にかかわる内容に取り組みながら、子供たちが楽しみながら心と体をほぐすことができるように声掛けをしたり、音楽を流したりする。 ○ 多様な動きを体験できるようにするために、いくつかの運動を各ステーションに取り入れるようにする。 個、ペア、グループなど活動形態を工夫し、多様な動きをつくる運動(遊び)の内容がより効果的に行えるようにする。
		(3) 用具を操作する運動(15分) <ul style="list-style-type: none"> 上に投げたボール(風船)を上手取るには、ボール(風船)をよく見ないといけないな。 しっかりボールをつかんでから、大事に後ろの人に渡そう。 	
振り返る	5	3 整理運動 4 本時の学習を振り返り、次時への見通しをもつ。 <ul style="list-style-type: none"> 力いっぱい体を動かすと気持ちいいね。 いっぱい動いた後は、心臓がドキドキして、体も心も温かくなったよ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> 体を動かすと気持ちがいいね。また、友達と一緒に運動したり、用具を使ったりすると楽しく運動できるぞ。 </div>	※ 用具の使い方や運動の行い方のきまりを守りながら、友達と仲よく運動したり場の安全を確かめたりして進んで運動に取り組んでいる。(観察) 本時の学習を振り返り、体や心への気付きや仲間との交流の視点から、気付いたことや感想を振り返り、全体の場で発表することができるようにする。
		5 片付けをする。	